

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 3名回答、回答率 100%
保護者様： 18名回答、回答率 75%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・利用定員と訓練スペース等の関係は概ね適切である。
- ・教室の入り口やトイレなど段差がある箇所があり、完全なバリアフリーは困難さが残る。

○業務改善

- ・ガイドラインアンケートの結果を年1回公開している。
- ・実地指導等、外部の評価が行われる機会はあるが第三者評価は実施していない。
- ・社内研修の機会は増えた。

○適切な支援の提供

- ・活動プログラムの立案については指導員それぞれで意見を出し担当をしている。
- ・支援開始前と終了後のミーティングの機会を設けている。

○関係機関や保護者との連携

- ・学校連携に関して支援級の学校の先生との連携が課題であると感じている。連携の機会が持てるように保護者も交えながら、スムーズな共有ができるようにしていきたい。
- ・さらに保護者の方と連携を強化しお子様の共通理解を深めていきたい。

○保護者への説明責任等

- ・個人情報等には十分注意している。
- ・送迎時など保護者の方と密な情報共有を心掛けてはいるが、感染症の状況を鑑みて保護者会の開催が難しくなってしまった。

○非常時等の対応

- ・定期的に避難訓練の実施ができている
- ・虐待防止研修や身体拘束研修を年1回行っている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・子どもの活動等のスペースが十分に確保されている。というご意見をいただきました。
- ・職員の配置数や専門性は適切であるが人的環境の変化があり落ち着きませんというご意見をいただきました。

○適切な支援の提供

- ・子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているというご意見をいただきました。
- ・放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会が少ないというご意見をいただきました。

○保護者への説明等

- ・子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている。というご意見をいただきました。

○非常時等の対応

- ・定期的に避難訓練が取り組まれているというご意見を8割以上いただいている。
- ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの保護者の方へより分かりやすく周知して欲しいというご意見をいただきました。

○満足度

- ・ご回答いただいた全ての方に事業所の支援に満足しているというご意見を頂いた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・安全管理に配慮した送迎サービスの見直し
- ・保護者会の開催

○改善できた点・まだ残る課題

【改善できた点】

- ・送迎サービス提供継続の為の支援法の見直し
→成長に合わせた送迎の仕方を見直しし、自己入退室できるお子様を支援していくことで安全管理のさらなる強化を図る事が出来た。
- ・感染症対策に配慮をし、保護者会を開催を検討する。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・支援内容を教室内で話し合い、ご利用児童の特性に合わせた適切な支援を提供する事ができた。
- ・保護者のニーズをより深くヒアリングし、個別支援計画に反映させることができた。
- ・支援への満足度の回答で100%の支持を得られることができた。

○改善点

- ・安全管理マニュアル自体の保護者の方への周知。
- ・地域交流が少ない。
- ・保護者会の開催
- ・緊急時対応の定期的な指導員間の共有。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・地域交流の活性化。
- ・安全管理マニュアルの保護者の方への継続周知。
- ・保護者会や療育参観の開催
- ・緊急時対応の定期的な指導員間の共有。

○1年間で取り組む具体策

- ・地域交流が少ない。
→土曜祝日開室時に地域の施設を活用した活動を行う。
- ・安全管理マニュアルの保護者の方への周知。
→ニュースレターやブログなどで保護者の方への周知を行う。避難訓練実施後は職員から実施内容の説明を行い理解につなげる。
 - ・保護者会の開催
→まずは、療育参観を企画し、日々の支援の様子を見ていただく機会を作る。
- ・緊急時対応の定期的な指導員間の共有。
→緊急時の対応法を職員全員が同じ認識を持つことで、誰でも臨機応変に対応ができるような環境を作る。